

Yokohama
Futaba



徳においては純真に 義務においては堅実に

横浜雙葉中学高等学校

校訓

徳においては純真に
義務においては堅実に

教育理念

キリスト教的価値観にもとづき、
自身を深め、高め、
人とかかわり、世界をつなぐ生き方をめざします

教育方針

横浜雙葉の教育は、すべての人が「かけがえのない独自の価値を持った大切な存在である」と考えるところから始まります。それは、学園の精神の土台であるキリスト教にもとづきます。

ありのままの自分が愛され受け入れられていると実感するとき、人は自分の可能性を広げ、チャレンジすることができます。そして他者にも開かれた心を持ち、苦しむ人に共感できる人として、よりよい世界をつくっていくでしょう。

明治の創立以来、本校はかけ橋となって互いを「つなぐ」人を世に送り出してきました。世の中がめまぐるしく動き種々の価値観があふれる中、あらためて学園の創立の重要性を確認しております。学園の学びの中で、生徒一人ひとりが自分の可能性を見出し、高い知性と豊かで深い感性を育み、新しい未来に向けて、互いをつなぎ合いながら力強く心優しく歩む人に成長できるよう教育活動を行っております。



教育課程は
こちら ▶▶



学校目標

人と世界、未来をつなぐ

具体的には次の3点から考えています。

- 1 たくましい知性
- 2 開かれた感性
- 3 未来への責任

教育理念・
学校目標の
詳細は ▶▶



創立者について



創立者 マザー・マチルド (1814-1911)

「幼きイエス会」(バレ神父がフランスで創設)の修道女として1872年(明治5年)、4人の修道女とともに横浜に上陸しました。初めて来日した修道女です。すぐに山手町で外国人女子教育と身よりのない子どもの養育を開始。あずかる子どもの数はどんどん増えましたが、だれをも「うちの子どもたち」として受け入れました。やがて子どもへの深い愛情が、横浜雙葉学園の前身「横浜紅蘭女学校」の創立になりました。



横浜雙葉の学習 高い知性と豊かで深い感性を育む教育を行っています



教科的教育

各教科の学習を重視して進める中で、自分の思考を言葉で整理し、自分と向き合うことを大切にしています。問題を解く力とともに、論理的な思考の育成をつねに心がけています。確かな学力をもとに、外部コンクールなど、自らの興味を持ったことに打ち込む生徒を応援します。

地球市民教育(グローバル・シティズンシップ教育)

生徒が地球世界の諸問題に向き合い、社会の一員として積極的にかかわり、貢献していくことができることを目指しています。確かな知性で問題を把握し、言語能力を生かして人々と協力し、豊かな感性でよりよい社会を構想する力を持つ生徒を育てます。留学生の受け入れや、海外姉妹校との交流ツアー、隣接するサンモール・インターナショナルスクールでの活動など、視野と意識を広げる機会があります。

情報教育(デジタル・シティズンシップ教育)

デジタル情報世界においても、諸問題を正確に把握・分析し、自らの意見を適切に伝えていく能力は欠かせません。生徒全員がChromebookを所有し、情報世界が学校生活の一部となっています。新しく変化していくデジタル情報世界において慎重にかつ柔軟に、主体的に行動できる人を育てています。



ともにによりよく生きる(Well Being)

自分と同じように人を愛し、他者とともに生きることの大切さを実践を通して学びます。車いすを体験したり、福祉施設で活動したり、総合学習では本校独自のプログラムを用意して「自然・人・世界とのかかわり」について探究し、ともにによりよく生きることを大切にしています。



年間行事 行事をともにする仲間との友情は生涯の宝となります



高1校外学習
高3遠足
授業参観
学園の日ミサ
バレ師記念日

オープンキャンパス
保護者面談
米国研修
夏期補習



期末試験

死者のためのミサ
中1奉仕活動



卒業生のためのミサ
中学合唱コンサート

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入学式 始業式 新入生のためのミサ 中1・中2校外学習	中間試験 球技大会			夏期クラブ合宿 オーストラリア研修 夏期補習	終・始業式 運動会 雙葉祭 音楽鑑賞会		中間試験 奉仕活動 クリスマス行事・ミサ	中学入学試験	卒業式 期末試験 終業式 海外姉妹校交流ツアー		



クラブ活動 学年を超えた交流の中で青春を謳歌することも大切にしています

テニス部
バスケットボール部
バレーボール部
ハイキング部
ダンス部
器楽部
吹奏楽部
茶道部
書道部
家庭部
生物部
新聞部
音楽部
軽音楽部

英語部
史学部
科学部
美術部
写真部
文芸部
競技かるた部
フランス語部
演劇部
数学研究部
地理研究部
カトリック研究部
聖歌隊
THE EYES
(奉仕活動グループ)



クラブ活動
紹介 ▶▶



制服



制服紹介 ▶▶



施設紹介 生徒一人ひとりが新しい自分と出会う空間がここにあります

施設紹介 ▶▶



図書館

今人気の本がすぐ読めて、いろいろなジャンルの本もそろっています。みんなが集まる場所です。(中2)



生徒ホール

パンやジュースの販売機があり、放課後には友だちと語ったり、勉強を教え合ったりできる居心地のいいスペースです。(中3)



中庭

休み時間ごとにバレーボールをしたり、友達と語り合ったりした思い出の場所です。(卒業生)



講堂

ここに集まるときは全校生徒がそろっている場合が多く、一体感を感じる場所です。(高2)

Q&A 横浜雙葉についてのよくあるご質問

Q&A一覧 ▶▶



Q. 雙葉小学校出身者とは入学後仲良くできるでしょうか。

A. これまでの長い経験に基づいて指導しておりますので、ご安心下さい。クラスは雙葉小学校からの入学者と他の小学校からの入学者が半々で構成され、係の仕事も協力して取り組んでいます。また、入学後すぐにオリエンテーションを実施し、グループ活動やレクリエーションを通して、雙葉生としての一体感を育てております。

Q. 合否は4教科の総合点ということですが、教科ごとに一定の点数に達していない場合、不合格になることはありますか。

A. 4教科の総合点を基本としており、1教科の得点が低い場合でも、総合点が合格のラインを超えていれば合格としております。

Q. 学校に携帯電話・スマートフォンを持っていくことはできますか。

A. 災害時に備えて携帯電話・スマートフォンの所持を認めています。ただし、学校生活で使用することはできません。

Q. 通学時間に制限はありますか。

A. 通学時間の制限はありません。 在校生の通学区域はこちら ▶▶



インフォメーション

早わかり横浜雙葉 ▶▶



学校公開行事 ▶▶

学校説明会などの日程はこちら



入試情報 ▶▶

募集要項はこちら

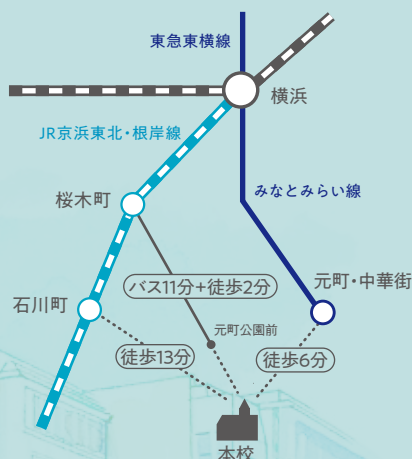


大学等合格状況 ▶▶

最新の合格実績はこちら



アクセス



○ 元町・中華街 出口6 徒歩6分
東急東横線直通みなとみらい線

○ 石川町駅 南口 徒歩13分
JR京浜東北・根岸線

○ 桜木町駅 バス11分+徒歩2分
神奈川中央交通バス
11系統・保土ヶ谷駅東口行き
「元町公園前」下車



横浜雙葉中学校 横浜雙葉高等学校

〒231-8653 神奈川県横浜市中区山手町88

TEL.045(641)1004 FAX.045(663)1650

https://yokohamafutaba.ed.jp/

学校HP



詳細は二次元コードからご覧下さい。環境に配慮し、紙の使用量削減に協力しています。